

牛島地区整備計画意見書

平成26年6月27日

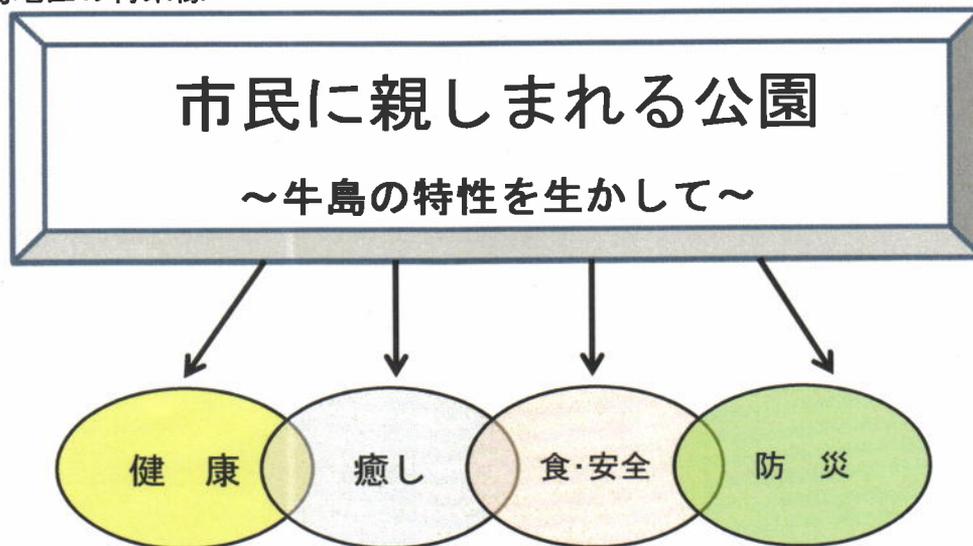
牛島地区整備検討委員会

委員長 烏中 清

はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により沿岸部に隣接していた烏崎行政区の牛島地区は壊滅的な被害を受けました。同地区には海浜公園やB&G海洋センター、パークゴルフ場があり多くの市民に利用され親しまれていました。又、温泉施設の計画もありこれから観光交流の拠点として整備される予定でもありました。残念ながら現在は地震や津波で発生した津波堆積物及び家屋解体に伴うガレキ置き場に姿を変えてしまっています。そんな中で真野川漁港や防波堤などの海岸整備が進められており、併せて今後の牛島地区再整備計画を進めるのにあたり、今年度策定される南相馬市の「総合計画」へ市民意向（意見）を反映させていただきたくここに提言いたします。

☆牛島地区の将来像



- ①健康：別な場所へ再整備が予定されているパークゴルフ場のサブコース（練習場）として整備し、中高年者が運動できる場所として提供することで健康増進につなげる。
- ②癒し：既存の温泉井戸を活用して足湯施設及び海水を利用した親水施設を整備することで人々が集える癒しの空間を提供する。
- ③食・安全：真野川漁港で水揚げされた鮮魚や魚介類、地域特産物を販売する施設を整備するとともに放射能に対する風評被害を払拭するため食の安全・安心をPRするイベント等を開催する。
- ④防災：この場所での震災の記憶を風化させないために震災モニュメントを建立し防災意識の高揚に努め、施設利用者の緊急時の避難誘導をわかりやすくする。



参考資料：総合計画基本構想より抜粋

みんなで作る かがやきと やすらぎのまち 南相馬
～復興から発展へ～

☆南相馬市の将来像

- ①みんなで作る：市民との協働により地域コミュニティの再生を図りながら市民自治を醸成する。
- ②か が や き：地域産業を再生する。
- ③や す ら ぎ：放射能への不安を払しょくし、医療・介護資源の確保を図る。

まちづくりの目標（4つの視点）

- ①逆境を飛躍に変え、地域の力を生かし活気に満ちたまち
- ②市民生活を取り戻し、地域、世代をつなぎ思いやりにあふれるまち
- ③人を育み、郷土を愛し、若い世代が夢と希望を持てるまち
- ④原発事故を克服し、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

まちづくりの基本指針（6つの指針）

- ①地域の特性を見つめなおし、産業と交流がさかんなまちづくり
- ②健康で安心して暮らすことができるまちづくり
- ③環境にやさしく、快適に暮らせるまちづくり
- ④災害に対応できる安全・安心なまちづくり
- ⑤自ら学び、自ら考えぬく力を育むまちづくり
- ⑥市民の力を生かした持続可能なまちづくり

参考資料：市民検討委員会の開催状況及び検討委員
開催状況

	日程	検討内容
第1回	9月24日(火)	経過及び今後の牛島整備について
第2回	11月14日(木)	検討委員会発足及びテーマの絞り込み
第3回	12月18日(水)	テーマに沿った具体的な要素の検討
第4回	3月13日(木)	検討委員会としての意見の集約
第5回	6月27日(金)	意見書の内容最終確認

検討委員名簿 (H25. 6～26. 3)

No.	氏名	所属	備考
1	烏中 清	烏崎行政区長	委員長
2	阿部 清	烏崎行政区	
3	西 銚 冶	南相馬市会議員	
4	松野 豊 喜	相馬双葉漁協鹿島支所長	
5	幾世橋 初 男	かしま元気スポーツクラブ事務局長	
6	五 賀 和 雄	南右田行政区長	副委員長
7	佐 藤 秀 邦	大内行政区長	
8	草 野 繁 春	かしま観光協会会長	
9	木 幡 仁	産業建設課長	
10	坂 本 智 正	相馬港湾建設事務所(企画管理課)	アドバイザー
11	但 野 裕	鹿島区役所長	〃

検討委員名簿 (H26. 4～27. 6)

No.	氏名	所属	備考
1	烏中 清	烏崎行政区長	委員長
2	阿部 清	烏崎行政区	
3	西 銚 冶	南相馬市会議員	
4	松野 豊 喜	相馬双葉漁協鹿島支所長	
5	幾世橋 初 男	かしま元気スポーツクラブ事務局長	
6	五 賀 和 雄	南右田行政区長	副委員長
7	佐 藤 秀 邦	大内行政区	
8	草 野 繁 春	かしま観光協会理事	
9	相 良 裕 季	産業建設課長	
10	坂 本 智 正	相馬港湾建設事務所(企画管理課)	アドバイザー
11	大 谷 嘉 洋	鹿島区役所長	〃